

予算WG

國分 修三

技術部予算は技術部発足により、独自に予算管理を行えるようになった。これにより、従来の定額配分を継続しながら、技術部運営に関わる調査・情報収集に旅費の使用が可能になった。今年度の実績としては各種研究会・学会等（8名）、技術部運営関連（5名）、技術講習会（4名）となった。法人化後、各大学技術部が開催する各種技術研究会が定期的で開催されるようになり、出席者および発表件数は増加傾向を示している。本学においても前述の研究会等における参加者と発表件数が増えている。

なお、九州地区総合技術研究会へは研修調査として技術職員研修WGより派遣を行うなど、他大学の状況を知ることで、活動の幅をひろめることができた。

物品費の実績としては地域貢献WG関連でパソコン組立教室用のパソコン購入を今年度も行い、使用台数を増やすことにより、受講者数の増加がみられた。

また、旅費を減額する結果になったが、技術部関連の行事で使用するためのノートパソコンの購入を行った。今後、備品などの購入については予算申請等の措置が必要である。

平成 21 年度予算執行状況（予算額：1,242,000 円）

1. 経常経費・技術部活動経費使用実績（553,820 円）
技術部報告書、技術部活動経費（パソコン組立教室）、ノートパソコン、消耗品
2. 旅費使用実績（687,850 円）
技術講習会（京都・東京等）、各種研究会・学会等（熊本・沖縄等）、
技術部運営調査（熊本・長崎）

平成 22 年度活動予算として、技術部運営経費（101 万円）を申請した。

内訳として

1. 経常経費（101 万円）
 - ・旅費：80 万円
平成 22 年度総合技術研究会(熊本大学)、平成 22 年度機器・分析技術研究会(東京工業大学)、
技術講習会等への出席、技術部運営に関する調査。
 - ・技術部報告集作成費：16 万円
「技術部報告書第 3 号」の発行にかかる経費。
 - ・事務・消耗品費：5 万円
各WG活動にかかる経費、他事務用品等。
2. 技術部活動経費（20 万円）
 - ・平成 24 年度機器・分析技術研究会大分大会開催に向けての調査費等。

連絡会

平成21年4月30日

議題

- ・ 昨年作成した旅費配分に関する申し合わせにより、定額配分の該当者への通知について。
- ・ 申請旅費の公募通知について。
- ・ 技術部運営経費の申請について。

平成21年5月30日

議題

- ・ 定額配分旅費該当者の使用計画について第一次回答について。
- ・ おもしろ科学実験隊による物品購入について。

平成21年10月31日

議題

- ・ 定額配分旅費該当者の使用計画について第二次回答について。
- ・ 技術部供用のパソコン購入について。

平成22年3月17日

議題

- ・ WG代表者の交代について。
- ・ 次年度の旅費公募（定額配分）について。